

伝染性紅斑 (リンゴ病)

Q.1 伝染性紅斑とは どのような病気ですか。

- せきをしたときのしぶきや接触により感染し、軽いかぜ症状と、両ほお、腕、足にレース様の紅い発しんを生じる病気で、幼児、学童がかかりやすいです。
- 成人では、しばしば関節痛が現れます。

Q.2 伝染性紅斑にかからないためには どうすればよいのですか。

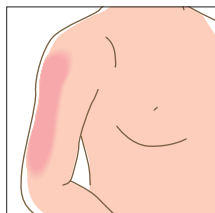
- 紅い発しんが出てきた時期には、感染力はありませんので、特に感染を予防する必要はありません。

Q.3 伝染性紅斑にかかったら どうすればよいのですか。

- 特別な治療法はなく、ほとんどが自然に回復します。
- 妊婦が感染した場合には、赤ちゃんが胎児水腫という病気になることがまれにあるので、妊婦健診などをきちんと受けましょう。



両側のほおに出現した
蝶翼状の発疹



上肢伸側に出現した発疹

国立感染症研究所感染症情報センターでは、ホームページ上で、伝染性紅斑について解説していますので、こちらもご参照ください。

アドレス http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k04/k04_23/k04_23.html

突発性発しん

Q.1 突発性発しんとは どのような病気ですか。

- ヒトヘルペスウイルスに感染することにより、突然の発熱(38度以上)が2~4日間続き、下熱すると発しんが出現する病気です。
- 生後6か月~1歳までの乳児がかかりやすい病気で、わが国では、2歳までにほとんどの小児が感染します。
- 成人のだ液に含まれるヒトヘルペスウイルスによる感染と考えられています。

Q.2 突発性発しんにかからないためには どうすればよいのですか。

- 予防方法は特にありません。

Q.3 突発性発しんにかかったら どうすればよいのですか。

- 特別な治療法はなく、症状を少し楽にする方法(対症療法)が行われます。

国立感染症研究所感染症情報センターでは、ホームページ上で、突発性発しんについて解説していますので、こちらもご参照ください。

アドレス http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k03/k03_28.html